

2024B 期施設利用課題募集要項

(放射光科学研究センター)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

関西光量子科学研究所

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (QST) 放射光科学研究センターは、保有する供用施設を広く産学官の利用に供しています。今般、2024B 期分の施設利用課題を下記により公募いたします。

1. 利用期間	2024 年 9 月から 2025 年 2 月まで (SPring-8 運転スケジュールに依る)
2. 公募の締切	2024 年 5 月 31 日 (金) 第 1 研究企画室 (播磨地区) 必着
3. 公募の対象となる放射光装置	<p>QST 極限量子ダイナミクス I ビームライン (BL11XU) 放射光メスbauer分光装置 共鳴非弾性 X 線散乱装置 表面 X 線回折計</p> <p>QST 極限量子ダイナミクス II ビームライン (BL14B1) 高温高圧プレス装置</p> <p>JAEA 重元素科学 I ビームライン (BL22XU) 高速 2 体分布関数計測装置 (ダイヤモンドアンビルセル用 X 線回折計) *1 コヒーレント X 線回折イメージング装置 (汎用 X 線回折用多軸回折計) *2</p> <p>応募の前に、技術的可能性等、装置の利用に関して、各装置の担当者と十分打ち合わせを行ってください。</p> <p>*1,*2) 2021 年度まで行っていた文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業では、ダイヤモンドアンビルセル回折計、大型 X 線回折計という登録装置名でした。</p>
4. 公募区分	<p>この度の施設利用課題の定期募集では、成果非専有利用課題 (文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業により支援されるマテリアル先端リサーチインフラ課題)、及び、成果専有利用課題を募集します。</p> <p>(1) 成果非専有利用課題 (マテリアル先端リサーチインフラ課題)</p> <p>施設供用課題審査委員会による審査を行います。また、マテリアル先端リサーチインフラ事業の定める利用報告の提出と公開、及びマテリアル先端リサーチインフラ事業に係る施設供用約款 (ARIM 施設供用約款) 並びに公益財団法人高輝度光科学研究センター (JASRI) の定めに則り、論文発表等によって成果を公表することを要件とします。</p> <p>マテリアル先端リサーチインフラ事業では、従来からの「設備の供用」に加えて、原則として設備利用によって得られた「データの共用」も行い、データを活用したマテリアル開発に資することを目指しています。QST ではマテリアル先端リサーチインフラ事業に係る施設供用に関するデータ登録約款 (ARIM データ登録約款) に則り、2023 年度から利用者のご承認のもとでデータの登録、すなわち ARIM 事業のシステムにデータをアップロードし、国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS) が当該データを管理できる状態にします。利用者には応募様式にて「データの登録」の可否について伺います。</p> <p>成果非専有利用課題は全て「共同研究」もしくは「技術補助」の利用形態とさせていただきます。「共同研究」では、データの解析や学術的な議論を含めて、利用者と QST が共</p>

	<p>同で行います。利用者が公開する成果の共著者として QST 職員を含めていただきます。この場合には QST 職員の役務費は免除されます。「技術補助」では、利用者は操作方法などについて QST 職員の補助を受けながら機器を使用します。この場合は役務費が課金されます。</p> <p>(2)成果専有利用課題</p> <p>QST 職員の補助に対しては役務費が課金されます。秘密保持等に関してご要望がありましたら、あらかじめご相談ください。</p>																													
5. 応募資格	大学、民間企業、及び、公的研究機関等に属する研究者等（学生を除く）とします。																													
6. 利用課題審査	<p>(1) 成果非専有利用課題</p> <p>QST と原子力機構（JAEA）が合同で実施する施設供用課題審査委員会にて、科学技術的妥当性、QST の装置を利用する必要性、実験の実施可能性、安全性、QST 及び JAEA の供用施設を用いて行われたこれまでの研究成果について、総合的かつ専門的に審査して採否を決定します。</p>																													
	<p>(2) 成果専有利用課題</p> <p>QST の当該施設運営部門にて実験の実施可能性および安全性を審査します。</p>																													
7. 応募方法	<p>「施設利用課題応募様式」に必要事項を記入し、「18. 問い合わせ及び申込先」に電子メール添付にてお送りください。応募様式及び記入要領は、以下の web サイトよりダウンロードしてご利用ください。応募様式は、Microsoft Excel です。ご入力にあたっては Microsoft Office をお使いください。</p> <p>https://www.qst.go.jp/site/arim/usage-qst.html</p>																													
8. 採択結果の通知	2024 年 8 月頃に通知する予定です。																													
9. 施設供用及びデータ登録の約款	<p>施設の利用に際しては、成果非専有利用課題では QST が定める ARIM 施設供用及び ARIM データ登録約款に基づいて、成果専有利用課題では QST が定める施設供用約款に基づいてご利用いただくこととなりますので、各約款の内容をご理解の上、応募してください。各約款は以下の web サイトでご覧いただけます。</p> <p>https://www.qst.go.jp/site/arim/usage-qst.html</p>																													
10. 施設利用料金	<p>施設利用料金は、本定期募集における課題に応じて現状では次の通りです。2022A 期以降、消耗品費については実費の一部（例えば液体 He 代など）を徴収します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" rowspan="2">公募区分</th> <th colspan="3">施設利用料金（以下 3 列の合計）</th> </tr> <tr> <th>取扱手数料 （定額）（税 抜）</th> <th>施設運転経費 （8 時間=1 シフト当 たり）（従量）（税抜）</th> <th>追加経費 （従量）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">成果非専有利用課 題（マテリアル先端 リサーチインフラ 課題）</td> <td rowspan="2">共同 研究</td> <td>データ登録有</td> <td rowspan="4">9,900 円</td> <td>15,260 円</td> <td rowspan="2">消耗品費</td> </tr> <tr> <td>データ登録無</td> <td>19,080 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">技術 補助</td> <td>データ登録有</td> <td>15,260 円</td> <td rowspan="2">消耗品費 役務費</td> </tr> <tr> <td>データ登録無</td> <td>19,080 円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">成果専有利用課題</td> <td></td> <td>171,970 円 215,120 円（外国機関） （注）</td> <td>消耗品費 役務費</td> </tr> </tbody> </table>	公募区分			施設利用料金（以下 3 列の合計）			取扱手数料 （定額）（税 抜）	施設運転経費 （8 時間=1 シフト当 たり）（従量）（税抜）	追加経費 （従量）	成果非専有利用課 題（マテリアル先端 リサーチインフラ 課題）	共同 研究	データ登録有	9,900 円	15,260 円	消耗品費	データ登録無	19,080 円	技術 補助	データ登録有	15,260 円	消耗品費 役務費	データ登録無	19,080 円	成果専有利用課題				171,970 円 215,120 円（外国機関） （注）	消耗品費 役務費
公募区分					施設利用料金（以下 3 列の合計）																									
			取扱手数料 （定額）（税 抜）	施設運転経費 （8 時間=1 シフト当 たり）（従量）（税抜）	追加経費 （従量）																									
成果非専有利用課 題（マテリアル先端 リサーチインフラ 課題）	共同 研究	データ登録有	9,900 円	15,260 円	消耗品費																									
		データ登録無		19,080 円																										
	技術 補助	データ登録有		15,260 円	消耗品費 役務費																									
		データ登録無		19,080 円																										
成果専有利用課題				171,970 円 215,120 円（外国機関） （注）	消耗品費 役務費																									

	<p>(注) 成果専有利用課題については、上記の QST の施設利用料金に加えて、JASRI が定めるビーム使用料 (税込 312,000 円/8 時間) を代行徴収します。なお、当該使用料金が改定された場合には、改定後の料金を代行徴収します。</p>
11. 利用報告	<p>成果非専有利用課題については、マテリアル先端リサーチインフラ事業の定める利用報告書を提出していただきます。利用報告は公開されます。利用報告書の提出について具体的方法が決まり次第お知らせします。</p>
12. 成果の公表	<p>QST 放射光科学研究センターの施設利用における成果公表の要件は以下の通りです。</p> <p>成果非専有利用課題においては、以下の QST が定める成果公表の要件及び JASRI の定める要件を遵守していただきます。</p> <p>【QST の定める要件】</p> <p>施設利用年度の翌年度の 4 月 1 日から起算して 2 年以内 (2027 年 3 月 31 日まで) に QST が定める論文発表等 (原著論文、総説、プロシーディングス、書籍、雑誌、社内報 (社外公開のみ)、学会、研究会、セミナー、シンポジウム、講演会、報告会、プレス発表、特許出願等) を行い、SPring-8 の研究成果データベースに登録すること。</p> <p>【JASRI の定める要件】</p> <p>大型放射光施設 (SPring-8) を利用した場合、課題実施期 (2024B 期) 終了後 3 年以内 (2028 年 3 月 31 日まで) に、SPring-8 を利用したことを明記した査読付き論文等を発表し、SPring-8 の研究成果データベースに登録すること。</p> <p>詳細は JASRI の web サイトをご覧ください。 https://user.spring8.or.jp/?p=20911</p> <p>期限までに QST の定める成果公表の要件で成果が公表されない場合は、成果専有利用課題と同額の施設利用料金が適用され、成果非専有利用課題としてお支払いいただいた利用料金との差額を納めていただく場合があります。また、今後の利用課題の採択及び利用時間の配分を決定する際に重要な判断基準となります。</p> <p>成果公表の要件を満たすか否かに関わらず、論文および学会発表等、成果を発表する場合は、論文等の実験頁や謝辞等に「文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業」による支援を受けたこと及び「SPring-8 の量子科学技術研究開発機構の施設」を利用したこと、ビームライン番号や 15 桁の体系的課題番号 (JPMXP1224QS00XX) を明記してください。</p> <p>以下の発表等を行った場合にも、課題実施期終了後 3 年以内に関わらず、SPring-8 の研究成果データベースへの登録をお願いいたします。</p> <p>プロシーディングス (査読のないプロシーディングス)・総説 (レビュー、査読のない論文)・単行本・受賞・その他出版 (修士論文、社内報、新聞発表等)・招待講演 (国際/国内)・口頭/ポスター発表 (国際/国内)</p>
13. 知的財産等の取扱	<p>QST の供用施設の使用に伴い発生した知的財産について特許出願等を行う場合は、約款の定めに従うこととなりますので、事前に担当者と協議してください。</p>
14. 次回課題募集	<p>2025 年度上期 (2025A 期) の定期募集は、2024 年 11 月頃に行う予定です。</p>

15. 特別な支援	<p><QST が支援する予備的利用></p> <p>成果非専有利用課題か成果専有利用課題かを問わず、また、初回利用か否かに関わらず、放射光利用実験を申請する前に、必要であれば放射光を用いない予備的な実験を無料で支援します（随時受付）。</p>
16. 民間企業利用者への支援	<p>民間企業利用者からの成果非専有利用課題においては、必要に応じて、成果公表に向けた支援を特別に実施することが可能です。</p>
17. その他	<p>課題が採択された場合、採択通知後にご提出いただく書類があります。QST 事務局から随時お知らせします。</p> <p>放射光施設及び供用施設の予定外の運転停止等により、課題が予定通りに実施できない場合、あるいは、利用時期の変更や利用時間の減少が生じる場合があること、また、QST はそのような場合の補償を行えないことを予めお含みおきください。</p> <p>旅費は利用者の負担になります。</p> <p>本公募により提供された個人情報、文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業及び QST の施設供用における利用者の支援をはじめとする円滑な運営の目的にのみ利用いたします。</p> <p>マテリアル先端リサーチインフラ事業課題の個人情報は、文科省および事業参画 25 機関の間で共有、再利用されることがあります。</p> <p>採択された利用課題については、QST の web サイト及び刊行物に研究代表者氏名・所属・利用課題名等を掲載する場合がありますので、予めご了承ください。</p> <p>QST マテリアル先端リサーチインフラ及び文科省のマテリアル先端リサーチインフラ事業につきましては、以下の web サイトに掲載していますのでご参照ください。</p> <p>https://www.qst.go.jp/site/arim/</p> <p>https://nanonet.mext.go.jp/</p>
18. 問い合わせ及び申込先	<p>〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1 丁目 1-1</p> <p>国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構</p> <p>経営企画部 第 1 研究企画室（播磨地区）</p> <p>QST 事務局</p> <p>TEL : 0791-58-2641 FAX : 0791-58-0311</p> <p>e-mail : qst_arim[at]qst.go.jp</p>